

平成21年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域協働で修学旅行生等と体験型交流をしましょう。
事業主体 (連絡先)	根羽村農家民宿の会 (原 小夜子 0265-49-2038)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,226,635円 (うち支援金: 1,207,000円)

事業内容

修学旅行生を受け入れる中で、体験項目の拡大と、技術の向上を図るために、講習会を開催した。間伐材を利用した表札づくり、草木染めで、絵手紙で、個性あふれる作品づくり、遊休農地を利活用して作った大豆・そばを利用して豆腐づくり、ソバ打ち体験をしましたが、農家民宿の会の会員がご夫婦の参加をはじめ多くの会員が参加しました。農閑期を利用し、講師も地元の経験者をお願いして、和気あいあいと講習を受けました。



自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

1. 根羽村の自然をはじめ、地域資源を活かした都市と農村との交流活動が活発にできました。
2. 受入農家が17軒に増加、受入学生は400人余で、地域の活性化に繋がりました。
3. 農業普及員さんの指導の下で、4名の会員がそば作りに挑戦し、収穫したそばを会員に提供したり、ネバーランドに卸したりしました。
4. 収穫したそば、大豆で豆腐作り等をして、地産地消を進めることができました。
5. 受入農家間で、農閑期を利用して協働で作業したり、講習会をしながら情報交換をしたりして、会の充実と結束が深まりました。

【目標・ねらい】

- 修学旅行生の受入の増加
- 協働で地域の活性化を進める
- 遊休農地を利活用して、そば、大豆をつくり、豆腐づくりなどの体験を提供する。

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

今回購入した体験の道具は、村より借用している場所へ保管して、貸出ノートで管理する。月1回の集会の場で情報交換をし、会員同士が有効に道具を使用して、多くの修学旅行生を受け入れ、子ども達にも満足していただけるように、会員のレベルアップを図っていく。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下